

老後に不安！

学習資料

崖っぷち！介護保険

「介護の社会化」を掲げてスタートした介護保険
しかし「保険あって介護なし」の現実！！

必要な介護サービスを「利用できない」「提供できない」…重大な機能不全

給付削減・負担増の25年

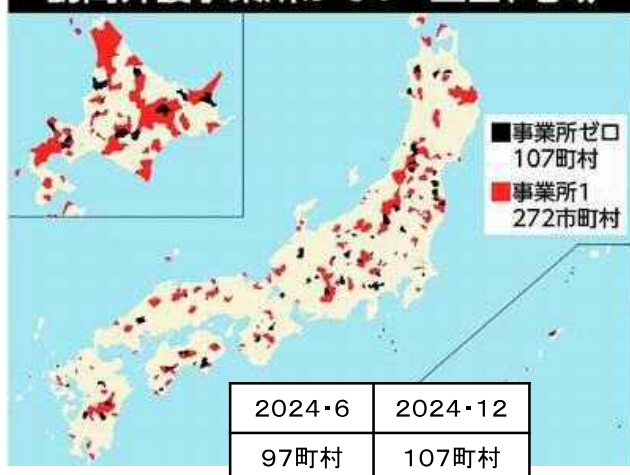
● 介護保険がスタートして25年。給付を削り、負担を引き上げる見直しが繰り返され、保険料を納めているのに必要なサービスを利用できない制度に…これでは「国家的保険詐欺」！

（負担） 利用料2割負担・3割負担の導入、施設等での食費・居住費の自己負担化、補足給付に資産要件などを導入…など

（給付） 新予防給付（要支援1、2）創設、要介護認定見直し（軽度判定誘導）、「総合事業」の創設、特養入所制限（原則要介護3以上）…など

介護崩壊が現実化＋拡大

訪問介護事業所がない空白、地域



事業所の倒産・廃業は過去最多一低く据え置かれた介護報酬

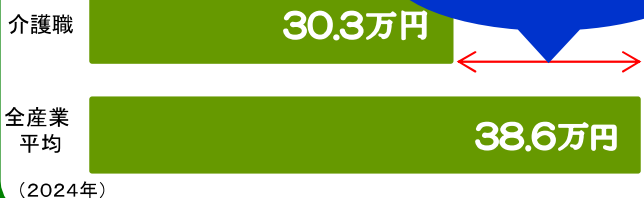


● 倒産・廃業件数のトップは 正当な理由なく基本報酬が引き下げられた訪問介護。現状は深刻

打開を見通せない人手不足

- 介護保険開始以来はじめて介護従事者数が前年から減少（2023年）、他産業への流出進む
- ヘルパー有効求人倍率14倍、ケアマネ不足進行
- 2026年25万人、40年57万人の不足見込み

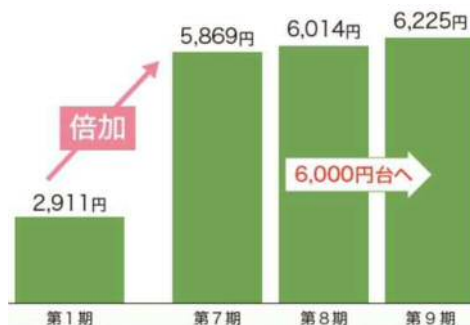
決定的に遅れている 職員の処遇改善



上昇し続ける介護保険料

給付抑制が進む一方で、保険料は右肩上がり。第9期は月6,225円（基準額の全国平均）。制度開始時（2,911円）から第7期に2倍、第8期から6,000円超え。第9期の最高額は大阪市の9,249円。

保険料の支払いはもう限界



政府は利用者・介護現場の困難をそのまま放置したまま 「三大改悪案」の審議をはじめようとしています

ご存じ
ですか？

★来年2026年度通常国会に改悪法案提出予定

利用料2割負担の対象拡大

1



※3分の1が「利用を減らす」「やめる」と回答(2019 民医連調査)

要介護1、2の生活援助サービスを 「総合事業」に移し替え

2



「給付」から「事業」へ
ポイント切り替え

※ 提案されているのは生活援助。
次のターゲットは
「訪問介護」と「通所
介護」。

ケアプランの有料化

3



※入り口で
シャットアウト

改悪案の検討中止！ 国庫負担の引き上げで 介護保険の抜本改善を！

- ◆ 大企業や富裕層への優遇税制……
★ 税金の「集め方」を変える！！
 - ◆ 5年間で43兆円！巨額の防衛費……
★ 税金の「使い方」を変える！！
- ミサイルではなく、ケアを！



★私たちは要求します

- 利用料2割負担の対象拡大など、サービスの抑制や負担増をもたらす制度の見直しはいっさい行わないこと
- 訪問介護基本報酬の引き下げを撤回すること、介護報酬全体を引き上げること
- 介護保険財政に対する国の負担割合を大幅に引き上げ、保険料・利用料負担の軽減など、介護保険制度を大幅な改善をはかること
- 全額国庫負担により、すべての介護従事者の給与を全産業平均まで早急に引き上げること

★ 7月は参議院議員選挙。私たちの要求を適えてくれる議員を一人でも多く国会に送り出しましょう！